

第6回逗子の未来協議会 グループワーク(条例の前文を考えよう)まとめ

グループ	①逗子市の現状・特長・特性と課題	②逗子市でこういう風に暮らしたい	③市民の自治に対する考え、思い	④だからこうする、こうしたい
1	<ul style="list-style-type: none"> ・“市民参加”が市民に届いていない ・自然が身近で利便性もそこそこあり、生活しやすい ・市内に学校が多い ・高齢化が進んでいる ・道路が狭い ・静かな海、緑豊かな山 ・富士の見える海 ・山や海、自然に恵まれている ・空き家が多い→活用しきれていない ・学校が多い ・安心して子育てできる街 ・親しみのある“力強い” ・市民参加と言いながら、市・市民団体、力を合わせきれなかった ・高齢化 ・財政が厳しい ・市域限られている→若い世代の人にたくさん住んでもらいたいが、今ある自然を残したい ・支え合うことのできる社会を私たちは作ります 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢の方まで“逗子で暮らしてよい”と思える安心して子育てできるまち ・安心して子育てや、安心して老いていくことができる ・誰もが豊かな時間をもてるまちにしていく ・老人でも住みやすい町 ・ふれ合いのできる町 ・学び、働き ・子どもを産み育てる、もちろん子どもを産まなくてもいいけど ・一人でも生きていける ・老いることでも ・落ち着いた生活 ・海・山に触れながら(遊びながら) ・今がいい ・今が一番 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治に関心がある人も多いが、ない人も多い ・大きい都市ではないので、より多くの人に参加したくなるものにしたい ・自治の基本を考える出発点を理解する ・あらかじめ決められた中でやるのではなく、なぜするのか(目的)、どうすれば(方法、効率)を市民が決めて実施する。 ・スムーズな情報伝達を行い、市民・行政・議会を市民・行政・議会が話し合える多様な機会を設ける ・一人一人がきれいな町づくり ・ボランティアで広がる住民自治 ・逗子で暮らせて本当に良かったなど思える逗子を(市・市民・行政も市民＝わたしたち) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズな情報伝達(広報)を行う ・行政・議会・市民が話し合える場をつくる ・市民参加型のイベント(宣伝を強化した上で) ・市民の多様な参加の機会を設ける ・住みなれた町をきれいにし、みんなと触れ合いのできる豊かな町づくりを ・市民が市をつくっているという実感がもてるようにしていく

グループ	①逗子市の現状・特長・特性と課題	②逗子市でこういう風に暮らしたい	③市民の自治に対する考え、思い	④だからこうする、こうしたい
2	<p>・緑豊かで自然に恵まれた逗子は、明治時代以降、保養地として全国に知られるようになった。交通の便にも恵まれ、住むのにはもってこいの街である</p> <p>・①池子の森があまり生かされていない。良い方向性を出せる協議会をつくっていききたい</p> <p>②市民病院の必要性を広報として流す</p> <p>・有力な産業・企業がなく、収入は市民税に頼っている</p> <p>・他地域と同じく高齢化と人口減少は続き、その対策はあまりない</p> <p>・私たち市民は、<u>海と山、自然豊かなコンパクトシティ</u>としての特長を生かし</p> <p>・人口のパーセントからは高齢者が多い</p> <p>・緑・海などの自然に恵まれている</p> <p>・行政が市民の声を拾うような呼びかけが広まってきている</p> <p>・<u>自然豊か(海・山)</u></p> <p>・人が優しい？</p> <p>・意識が高い？</p> <p>・高齢化している</p> <p>・子育てしやすいか？</p> <p>・さまざまな能力をもった人が多い＝多様な可能性</p>	<p>・長時間の仕事を終え、帰宅した際、のんびりゆったりと過ごし、休日には湘南方面・三浦半島方面へとレジャーに出かけることができ、充実した日々を送ることができる</p> <p>・医療介護のあり方を考えていくことで老後を楽しんでいきたい</p> <p>・来訪者がうらやましがる</p> <p>・<u>美しい環境で元気に暮らしたい</u></p> <p>・できれば市内で働くことが市内で暮らす仲間に貢献できるような生活にしたい</p> <p>・<u>人と人のつながりを大切に、心豊かに暮らしたい</u>と願っています</p> <p>・自然あふれる環境の中で、地域に住む人たちと信頼し合って、地域の課題が出てきたら皆で協力して解決していくことができる暮らし</p> <p>・JRを取り込んだ海の玄関と山の玄関の美化(来訪者へのおもてなし)美化ボランティア支援</p>	<p>・かつて、池子の米軍家族住宅建設をめぐり、市を二分しての争いがあったことに象徴されるように、自分たちのまちのことは自分たちで考えるという思想が根強く残っている。また、市民協働の精神が徐々に市民の間に浸透しつつあることも時代の流れとしては捉えておかねばならないことである。</p> <p>・人(法人も含め)作りを住民全体で支える</p> <p>・役所と住民のみならず企業も含めた市民活動</p> <p>・<u>行政・住民・事業者の3者が課題を共有し、協力し合い解決にあたる</u></p> <p>・情報の共有化を進めたい</p> <p>・そのために私たちは、自分たちのまちは自分たちで守り、作っていく心を育み</p> <p>・市民として個人の意見を尊重し、様々な行政の問題に積極的に参加していきたい</p> <p>・逗子に限らず日本はお役所の指示待ち、役所からの提案待ちに慣れてしまっていると感じる。地域に問題が生じて「役所がやれ」という意識であるため、なかなか解決しないことが多いと思う。これからの時代は住民の側がもう少し主体的に考え、行動することが大事で、それはそもそも根源的に地域コミュニティから発展して→役所→政治、となったのだから原点に立ち戻らないといけない</p> <p>・空き家を再活用した産業の育成・支援</p>	<p>・恵まれた自然環境のもとで暮らせることに感謝し、この自然を未来に向かって維持し、<u>安心・安全</u>に暮らしていくための手だてを市民自ら考え、体制を作り上げてゆかねばならない。防災対策も十分に配慮しなければならぬ</p> <p>・環境保全に役に立ちながら、老若助け合って暮らしたい</p> <p>・空き家対策と他都市からの移動される方々に逗子の良いところをアピールしていける資料のまとめ</p> <p>・池子返還を単なる公園とせず、産業(教育・研究)の基地的活用</p> <p>・暮らしの中の課題を自分事としてとらえ、行動していきます</p> <p>・なんとなく前文らしく仕上げるのではなく、意識を変えていくことを狙いにしてつくるのが良い</p> <p>・意識を地域自治に積極的に捉えられるような前文作りが求められると思う</p>
まとめ	<p>私たちのまち、逗子は、自然豊か、恵まれている一方、高齢化も進んでいます。</p>	<p>私たちは人と人が信頼し合って美しい環境の中で元気に暮らし続けたいと願っています。(安心・安全なまちをめざします)</p>	<p>そのためには、市民・事業者・行政が課題を共有し、協力し合うことが必要です。</p>	<p>私たちはそれぞれが夢をかなえるために主体的に動き、支え、支えられるようにつとめます。</p>

グループ	①逗子市の現状・特長・特性と課題	②逗子市でこういう風に暮らしたい	③市民の自治に対する考え、思い	④だからこうする、こうしたい
3	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子市は、南西が海に開け、三方を山に囲まれた、美しい自然の残るまちである ・逗子市は、交通が便利で首都圏に通勤する人が多いまちである ・市の財政は厳しい？ ・逗子市は、生き生きと暮らす市民が、お互いにつながりを感じられる人口のまちである ・自然環境が良い ・市民の大半は他自治体よりの収入で生計をたてる ・地域のコミュニティがなくなってきた就職・結婚等で出て行ってしまふ ・高齢化、人口減、税収減 ・海と山に囲まれた所 ・都会でもない、田舎すぎない ・年齢が高い ・収入がない ・海・山(自然) ・コンパクトシティ ・専門化・知識人が多い ・高齢化・人口減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの意思疎通が容易にできるようにしたい ・暮らしのための環境、とりわけ自然を大切に、地球温暖化も防げるまちとしたい ・市などの行政の元となる市民の意識を常におおいに保ち、生かせるようにしたい ・子どもから高齢者までが健康的・文化的に暮らせる ・余生をのんびり暮らしたい(健康で文化的な) ・コミュニティを広くもちたい ・いろいろな人の顔が見える ・それぞれの土地・風景が見たい ・自然を身近に感じられる暮らし ・多世代コミュニティ ・身近な自然を守る 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治は、社会における1つの基本として、自らの考えや思いを形成する手段であり、保障である ・自治は、1人はみんなのために、みんなは1人のために、協力して生きるために役立つ ・市民の声を多く取りあげてより住みやすいまちにする ・多様な考えを尊重しつつも、まとまっていける解決方法を見つけ実行する ・自らの意思によってまちづくりに参加する ・自治は、自らのまちを自らがつくるための重要な発想の基本である ・あまり熱心ではない ・興味をもっている人が若年の人は多くない ・ボランティア(無給)でどこまでできるの？ ・市民と行政の協働(参画)をより推進する ・相乗効果 ・今まで特に考えたことはない(選挙以外自治に参加意識がなかった) 	<ul style="list-style-type: none"> ・条例は、市民の権利及び義務を保障すべきだ ・条例は、市民がつくり、またそれにより意見が談論風発のように生れるようにしたい ・人と街・景色が見える所 ・TV等ネット ・行政と議会と市民と一緒に問題解決をする(共有して) ・条例は、地方自治の規定(憲法、法律など)を全うできるようにしたい ・財政不足による福利厚生を自然環境でまかなってきた現状を考えると余り要求できないが、…。総合病院があればと思う ・市民のもつ多様な知識、社会経験を生かし、活用する(活躍してもらおう) ・インターネット、SNS等で情報を発信
まとめ	<p>逗子は、海と山に囲まれた美しい自然が残っている。その中で、いきいきと暮らす市民がつながるコンパクトシティである。それらを大切に、健康的・文化的な生活ができることを望んでいる。自治は、1人がみんなのために、みんなが1人のためにあるべきで、それは1人1人の考えや思いが実現するための手段であり、保障である。</p> <p>この条例は、市民と地方自治を尊重するためのものであり、市民のもつ多様な知識、経験が談論風発のように生まれ、それらを市民・行政・議会が共有して問題解決することが求められている。</p>			

グループ	①逗子市の現状・特長・特性と課題	②逗子市でこういう風に暮らしたい	③市民の自治に対する考え、思い	④だからこうする、こうしたい
4	<p>・少子高齢化による<u>税収の減少</u></p> <p>・都心に近く、<u>山海の自然環境に恵まれている</u>。次世代にどう残すか、鎌倉・葉山に比べてイメージがはっきりしない</p> <p><u>狭い道路が多く、安心して歩けない</u>。自動車優先のまちづくりから歩行者優先のまちづくりへ</p> <p>・逗子市長、富野さんの時代</p> <p>富野市長は、逗子市はこれ以上人口を増やすのは心配です。逗子市民の人口は増やさないようにしたいと言われた時代があります。現在、逗子市の人口は年々減っています</p> <p>・<u>自然豊かな(海・山・緑)土地を守りながら、58,000人規模の人口を維持していく</u>。</p> <p>若者に魅力ある市に！(もっと歩きやすい街に)</p>	<p>・市民一人一人の権利人権が大切にされる豊かな自然環境の中、<u>安心・安全に</u></p> <p>・豊かな自然環境が残っている逗子の中で、子どもやお年寄りが安心して外で活動できるような暮らしがしたい</p> <p>・<u>地域の問題(ゴミ、高齢者対策など)は、地域住民が中心となって(難しい)、コミュニティのある環境で暮らしたい</u></p> <p>・市民として平等に<u>情報の共有化がされ、保育・教育・医療・介護・日常生活に不安のない暮らし</u></p> <p>・逗子は非常に住みよい町です。しかしながら、お年寄りが年々増えて老人の行く末が心配です。これは、逗子だけの問題ではないことは分かりますが、人口が少なくなり税収は減って将来のことが大変心配です</p> <p>・<u>透明性のある自治会活動が望まれる</u></p> <p>誰でも入り易い受け入れ態勢づくりを(新しい人とか)</p>	<p>・<u>市民の積極的な参加及び協働していく</u></p> <p>・市民は、市民の代表者である市会議員に任せるだけではなく、<u>自らあらゆる機会を通じて行政に対してさまざまな意見や活動等ができる</u></p> <p>・<u>市側の問題</u>改善策等、市民の意見が反映されにくい(?)→規則、条例の決まりがあるから?柔軟な対応がとりにくい?</p> <p>・市民は<u>自分のできる範囲</u>できれいなまちづくりに責任をもつ(空き家、空き地、ゴミ、庭木の手入れ)</p> <p>・<u>民主的な自治会作り</u></p> <p>・逗子は自治会が非常にしっかりしております</p> <p>・<u>いろいろの活動に市民は安心しております</u>。独り住まいの家庭が非常に増えておりますが、近所の人たちがよく注意しております</p>	<p>・市民・行政・議会それぞれの情報の共有</p> <p>市民力をつける</p> <p>・<u>十人十色、一人十色の中で、一人一人の意見を大切にして市民と行政が歩んでいく</u></p> <p>・<u>自治会・町内会の活性化</u>(祭りの開催、四季ごとのイベント)</p> <p>・<u>商店街の取り組みの充実を図る</u>(銀座通りの歩行者天国とか)</p> <p>・①自己責任の意識</p> <p>・②どのように、市民同士のつながりをもつか・・・各種行事に参加</p> <p>・③<u>自治会について、考え、参加へのハードルを下げたい</u>(全市民が責任をもつ)</p> <p>・<u>自治会に入らず、近所にも連絡もしない人には、できるだけ連絡をするようにすることが大事だ</u>と思います</p> <p>・<u>逗子の魅力をいかに高めて都市づくりを考える</u>。商店街だけでなく市民の意見等も活かす。市の目指す像が不鮮明</p>

グループ	① 逗子市の現状・特長・特性と課題	② 逗子市でこういう風に暮らしたい	③ 市民の自治に対する考え、思い	④ だからこうする、こうしたい
5	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後人口が2万人から6万人近くまで増えたことにより、<u>大都市からの人口流入が激増し、それまでの地域コミュニティが空間的に崩れ、地域の歴史的・文化的な人間集団としてのつながりが稀薄になった。</u>これを、日常的な住民の接触・協働を通じて再整備する必要がある ・<u>自然に恵まれた文化度の高い</u> ・コンパクトであるが市民の感性が高い ・交通も都心への便利さがある ・米軍住宅という特異性をもっている ・<u>市民が年々減り続けている</u> ・<u>緑の風化</u> ・<u>世代交代→高齢化人口減少</u> ・<u>活性化</u> ・<u>環境が良い静かな街</u> ・<u>海・山に囲まれたコンパクトシティ</u> ・<u>都心へアクセスしやすい</u> ・<u>座って通勤・通学できる</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民同士の友和があること ・福利厚生が手厚く守られること ・子育て中の家族、高齢者などが日常的に歩いて往復できる範囲で、食料の購買、保育・幼稚園・託老所(デイケアセンター)などに行けて、<u>日常的に人間的な交流や楽しみが得られること、自分たちの身の回りの(緑)環境などに気を配りつくっていくような近隣関係を楽しみながら暮らしたい</u> ・緑豊かな<u>自然を守る</u> ・「<u>蜚のいる川</u>」を守る ・人と自然の共生 ・<u>良い環境を守りながら人とのつながりを大切に暮らしていきたい</u> ・<u>格差の是正、交流</u> ・教育の問題 ・遊びの中から創造が生まれる ・<u>時間的な格差 働く人の心の余裕</u> →地元で働き、消費・生産できる街 ・<u>支え合い</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民の自治」であって、行政の便宜のための自治ではないことを確認したい。<u>身の回りの自治活動</u>があつてこそ「住民」が「市民・シチズン」に進化し、単なる行政区としての市ではなく、市民による「市民社会」に成熟するのだと思う。その不可欠のツールが、自治、特に感知(日常的に)できる自治単位である ・共有化情報、市民の考え、行政の考え ・<u>逗子の魅力を発信</u>していく→伝え、守り、広げていく ・「<u>逗子が好き</u>」という気持ちを根底に ・自由の謳歌、福祉の実現 ・各世代が等しく参加する自治 ・市民が自治に関わるにあたり、現状の自治会や活動している団体について知りたい(情報共有) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「住民」が「市民」に成長するきっかけの一つとなった、「まちづくり基本計画」の中で、市民が提案した、顔の見える「日常生活圏」、又は、「<u>ふれあい活動圏</u>」を自治活動の基本に据え、そこから市民自治の具体的活動が発生するようにしたい。この単位がいくつか集合したときに、その上位のコミュニティが生まれるのが望ましいと考える ・他地域からも<u>移り住みたいと思わせる文化・福祉をさらに充実させ、魅力あるまちづくり市民が増え、税収も増えて豊かな町となること</u> ・<u>若い世代の人たちが暮らしやすい態勢づくり</u>→保育園の充実-病院→援助-高齢者の活用 ・居住する市民の<u>主体的な自治への参加</u> ・<u>空き家活用、若い世代を呼び込む</u> ・<u>逗子の魅力を活かすまちづくり</u> (住んでいる人は、より逗子が好きになるような。市外の人が訪れたいと思うような) ・<u>コンパクトシティの特性を活かす、人とのつながりによる安心・安全なまちづくり</u> (<u>あいさつ運動等</u>)→子どもや高齢者等への見守りの目が、日々の生活から生まれる

グループ	①逗子市の現状・特長・特性と課題	②逗子市でこういう風に暮らしたい	③市民の自治に対する考え、思い	④だからこうする、こうしたい
まとめ (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境が良い ・静かな街 ・まち中の緑の風化 ・海山に囲まれたコンパクトシティ ・自然に恵まれている ・市民の感性が強い ・文化度が高い ・人口流入により、それまで住んでいた人と新しく来た人との間に自治意識の差がある ・人間関係の希薄化 ・人口減少、世代交代 <p>海・山に囲まれて環境が良く、静かでコンパクトな住宅都市である。自然に恵まれ、静かな街だが、近来まち中の緑が少なく“風化している”とも言える。</p> <p>このような環境の中で、市民の感性や文化度が高いのが特徴でもある。一方、高度成長期の人口流入により、人間関係の希薄化、旧住民と新住民との間のかい離もあった。これからの人口減少を極力少なくし、世代交代がスムーズに進むための官民の努力が求められている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緑豊かな自然を守る ・人とのつながりを大切に ・福祉の充実、子育て・高齢者の安心・安全 ・(保育園、教育の充実) ・時間的な余裕、働く人の余裕(地元で働き、消費、生産できる町) 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの自治活動 ・情報共有(市民の考え、行政の考え) ・自由の謳歌、福祉の実現 ・各世代が等しく参加 ・他地域から流入容易 <p>空き家の活用(市民と行政による)協働</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子の魅力を生かすまちづくり ・「住み良さ」をPR ・若い人たちが暮らしやすい態勢づくり(空き家活用など) ・保育園の充実、そのサポート体制づくり →人を呼び込み「豊かなまち」へ ・出来る範囲で、自治活動をする(小さな単位からスタートする) ・コンパクトシティを生かす(あいさつ運動等で安心・安全づくり) ・居住する市民の主体的な自治への参加

グループ	①逗子市の現状・特長・特性と課題	②逗子市でこういう風に暮らしたい	③市民の自治に対する考え、思い	④だからこうする、こうしたい
6	<ul style="list-style-type: none"> ・都心に近いが、<u>自然が豊か</u> ・他人・個人を尊重する ・<u>高齢者が多く、人口減少</u>していくので、子育て世代の転入増加 ・都心が近い ・自然が豊か ・歳入の減少 ・高齢者が多い ・人口減少 ・空き家の増加 ・産業を創っていく、子育て世代の増加 ・①歳入の減少により、財政が苦しい ②<u>自然(海&山)に恵まれている</u> ③<u>住民の平均年齢が高い</u> ①&③は課題に通じると思います ・<u>山も海もある豊かな自然は心を豊かにする</u> ・都心まで電車で1時間 ・<u>住民の減少、高齢化</u>によりまちに活気がなくなっていく ・空き家が増え、美観・防犯上など数々の問題が起きている。たとえば、5年以上全く手を入れていない家に関しては、何らかの規制(ペナルティ)も必要かと思う ・遠浅で穏やかな海、街の三方を取り囲む野山を有する<u>豊かな自然</u> ・<u>温暖な気候、都心との適度な距離</u> ・現代市民生活の<u>あこがれの街</u> ・一方で、人口減少による財源不足が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>自然に恵まれた環境を大切に</u>し、精神の豊かさを保ちたい ・<u>あたり前の自然、持続可能な自然・街並み</u> ・健康で安心して安全に暮らしたい ・いついつまでも<u>あこがれの街</u>であってほしい ・その街に住んでいる<u>満足・誇り</u>を感じ続けたい ・<u>他人を思いやり</u> ・安心感 ・コミュニケーションのある活気ある街 ・自然に恵まれて人間らしい暮らし ・<u>お互いを尊重しつつ、協力して明るく楽しく暮らしたい</u> ・コミュニケーション 活気 ・生きることが楽しいと思える暮らし ・心静かに暮らしたい ・<u>豊かな自然環境に囲まれた暮らし</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の自治活動に参加している人の年齢が高く、若人の参加が必要です。 ネット参加という方法も一つの案かと思えます。 ・他人を守り、風土も守る ・老若男女の意見を反映させる ・市政への<u>参加意識</u>を高める、市政へ参加する ・当事者としての意識を高める活動が必要 ・関心のある方が多いように感じます ・関心のない方が不平不満が多いような気がする ・参加⇔危機感 ・自分たちの街は<u>自分たちで守る</u> ・“逗子”の文化、ブランドを守りたい ・<u>若い世代で醸成</u>して行ってほしい ・自然と自治に参加できる体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>自然を守るためには規制が必要</u>と感じます ・若い子育て世代に逗子に移住してもらうため、逗子の町の魅力を高める ・産業をつくる ・高齢者の活躍の場をつくっていく ・地域を守り、育てる ・自然は維持する ・お互いに尊重し、協力する風土をつくっていく ・20~40代の市政への参加につなげる活動を行う ・市民の市政への参加(エリアごとの代表者) ・“<u>逗子</u>”ブランドの発信、→若い世代の誘引(伝承、育成)企業誘致の促進 ・企業誘致に“<u>逗子</u>”ブランドの相乗効果、環境、行動 ・個人の意見を共有し、自治に生かす ・誰もが参加しやすいコミュニティ作りをする

グループ	①逗子市の現状・特長・特性と課題	②逗子市でこういう風に暮らしたい	③市民の自治に対する考え、思い	④だからこうする、こうしたい
7	<ul style="list-style-type: none"> ・道路状態(高齢者、ベビーカーが通行しにくい) ・商店街の変化 ・コンパクトシティ ・海と緑 ・温かい心、思いやりの街 ・豊かな自然、開発も整備も進まない ・高齢化 ・<u>税金伸びず</u>、現役の所得税頼み ・あいさつができる街 ・人口減少、高齢化 財政逼迫→自治システム連携 ・静か→キープ ・買い物が不便→ギブアップ ・<u>地域のつながり</u>→地域で次世代を育てる力 ・地震、津波への対策-防災 ・<u>海と緑が豊かな環境の元、人々が他の場所と比較して穏やかな対応をしてくれるまち</u> ・日中はサラリーマンは逗子から離れ、子ども、女性、お年寄りが多い街 ・生活環境は素晴らしいが、道路が狭いため事故の心配がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい環境の元、歩行者・運転手が安心して暮らしたい ・<u>年齢を問わず</u>、いろいろな面で安全に生活 ・贅沢は望まないが、<u>心豊かに安全で平和に</u>①子どもを育てたい②過ごしたい③人生を終わりたい ・安全 ・清潔 ・静かに ・互いに顔の見える、心通じる人とのつながり ・自助・共助で防災にソフトで強い地域づくり ・<u>山と海との穏やかな関係</u> ・<u>家庭・地域・学校(幼保)で子どもの豊かな心を育む</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて考えようとする→行動する ・逗子市は高齢者の割合が多いため、高齢者福祉に対する予算配分が多いというイメージがあるが、これを人々の暮らしの安全のための予算の比重を上げてほしい ・政治や産業に頼らず、市民が力を合わせて幸福を築き上げる ・地区により違うが、逗子小地区は、自治意識が希薄、<u>長期的展望感をもつ人材不足</u> ・範囲が大きすぎるので細分化をするべし ・よりよい街、よりよい地域、よりよい未来は自分の手でつくる ・市民みんなに居場所がある ・一人一人の力が発揮され、活躍の場がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然は維持し、人々が安心して暮らせるための<u>インフラの整備を実施し、事故のないまちを実現したい</u> ・住民一人一人が高い志をもって、もたせていくこと、子どもも大人も<u>教育・しつけが大事</u> ・一人一人ができることを協力する町、全員が主役であり脇役、自給自足の労働力 自治システムを作りやすく、小学校区に拘らずに細分化するべし ・<u>防犯システム連携</u> ・<u>防災システム連携</u> ・<u>ゴミ処理 市民の自主活動促進・交流</u> ・市役所経費削減(職員減を行う) ・子どもも大人も高齢者も<u>みんな参加</u> ・各地域の特色ある行事を ・<u>山と海を守っていく</u> ・<u>コミュニティの場を増やす、充実させる</u>
まとめ	<p>逗子市は静かで豊かな自然があり、穏やかな人間関係が築かれているコンパクトな街である。</p> <p>その一方、高齢化が進み、人口も長期的にみると減少の傾向にある。また、道路や歩道が狭く生活に最低限必要な商店が乏しいところがある。さらに、海に面しており、地震や津波への対策も課題となる。</p>	<p>逗子市民は、幅広い世代が心豊かにつながり、安全で安心し、静かに暮らしたいと望んでいる。また、自然と穏やかにつながり、清潔で落ち着いた環境の中、次世代を育てることができるとしてほしい。</p>	<p>これからの逗子市が進むべき方向性は、豊かな山と海の自然を共生できる場として次世代に残していきたい。その上で、市民一人一人が街づくりに主役として参加するようなコミュニティでありたい。</p> <p>さらに、人とつながる場を充実させ、集うためのインフラも整備していく必要がある。</p>	<p>そういった暮らしを実現するために、心の通う自治の姿をめざしていく必要がある。市民一人一人の自治意識を高め、長期的な展望をもつ人材を育成していきたい。防災や教育、環境保護などのさまざまな場面で、一人一人の力が発揮され、活躍することのできる自治をめざしたい。</p>

グループ	①逗子市の現状・特長・特性と課題	②逗子市でこういう風に暮らしたい	③市民の自治に対する考え、思い	④だからこうする、こうしたい
8	<p>・緑豊かな山々、青い海に囲まれた逗子は貴重な財産。一方、高齢化が着実に進み、一人一人が大切にされる街づくりが必要</p> <p>・三方を山、一方を海(即ち、四方を緑)に囲まれて、街中にも比較的緑が多く、「自然との共生」している。それらが比較的守られ(他の街に比べ)、市民のそういう意識が高い(移住する時からこの点を気に入ってきている人も多い)。老人(高齢)が多い。文化的には高レベルが保たれている。交流センターなど。コンパクトシティである。老人と青年・子ども(中年者)との調和をいかにとるかなどが課題。→コミュニティの問題</p> <p>・海と緑の自然は宝である</p> <p>・企業が少ないため、税収が乏しい</p> <p>・何をやるにしても常に「予算がない」がついて回る</p> <p>・そのような中で市議会議員の人数が多すぎる。鎌倉は6,000人に1人の議員定数だが、逗子は3,000人に1人である</p> <p>・全国でも類を見ない海、山、川に囲まれ、工業化されない街、住みよい街、都市への便もJR、京急と住居地として恵まれ、又、安心、安全の街として特長がある</p> <p>・豊かな自然に恵まれたまち 少子高齢化が進む中、子どもからお年寄りまで市民誰もが安心して幸せに暮らせるように 市議員インダストリーという言葉が示すように、勉強もしない、活動もしなくても、選挙前に駅前でもやりもしない「私は議員を減らします」と言って、当選してしまう。因みに議員報酬は、740万円/年である</p>	<p>・全ての人大切にされる街でありたい</p> <p>・そういう保全された緑の環境で、家族仲良く世代間の調和を楽しみながら暮らしたい</p> <p>・緑の多い環境(山や海)をハイキング、レクリエーションに最大限利用し、健康づくりして出来るだけ健康生命(病気になる状態)を長くして、高齢まで過ごしたい</p> <p>・コンパクトシティとして、生活施設を極力集中させ、無駄に動かなくても済むような日常生活を送りたい</p> <p>・今住んでいるところが終の棲家であるようにしたい</p> <p>・安全で安心な、快適な暮らしができるようにしたい</p> <p>・子どもを安全に安心して遊ばせ、学ばせることのできる環境を整え、働く世代(生産世代)誇り、やりがいをもっていきいきと自己実現し(男性も女性も)、高齢者も安心して穏やかに生きがいをもって暮らせるようにしたい</p> <p>・逗子市は近來、都会で住みなれた人たちと昔から暮らしている人たちに分類されて、古き良き逗子の伝統が薄れている。絆を大切に、個人主義と共同主義の主張をこれからは良く理解し、住みよい逗子にしたい</p>	<p>・一人一人の意見を尊重し、(少数派の意見にも耳を傾ける)積極的によい町づくりに参画する</p> <p>・住民自治協議会を充実させ、小学校区におけるまちづくりをその住民が担う形にしたい</p> <p>・逗子においても各地域にいろいろな特長がある。行政から見た地域、地域から見た逗子、この見方の一体感が最重要。そのため、各自治会の事情を重視して逗子一律とする考え方を変え、各地域代表の意見を大切にす行政になるよう考えていきたい</p> <p>・池子時代から続いてきた、市民自治の伝統を生かし、市民自治の進んだ街にしたい。より強力に政治への関心と市民参加を進め、最終的に行政市民協働による公共福祉との実現をめざしたい。(地域自治協議会の充実)老後まで安心して暮らしたい(世代間調和を図る)(老人は、子どもの面倒・指導、適齢者は老人の介護など?)</p>	<p>・老若男女、力を合わせて(助け合い)幸せに暮らせるように</p> <p>・一律思想の脱却</p> <p>・逗子市-住民協(各地区内まとめ、方向付け)、行政、市議会(協議会の勉強をよくする)</p> <p>・世代間交流進めるため、二世帯住宅の充実-タウンゾーニングなどにより</p> <p>・小学校区住民自治協議会の構想は良いので極力早く市民の理解を得て進め、将来的には(小学校区)、より狭い範囲での自治協議会づくりを進める(理想の姿)</p> <p>・開発規制はより強力に進めて、四方の自然を守っていく(ファミリー中心のビーチなども大いに結構)。基本的な考え方として大賛成(タウンゾーニング等により)</p> <p>・コンパクトシティ作りのためには、行政施設をより集中すること</p> <p>・自治基本条例を制定し、安定した小学校区住民自治協議会の活動ができるようにしたい</p> <p>・党利党略、不勉強な議員に予算を否決されるような馬鹿なことが2度と為されてはならない</p>

グループ	①逗子市の現状・特長・特性と課題	②逗子市でこういう風に暮らしたい	③市民の自治に対する考え、思い	④だからこうする、こうしたい
まとめ (8)	<ul style="list-style-type: none"> ・海と緑、自然の豊かさ ・安心安全な街 ・逗子は6万人弱のコンパクトシティである ・少子高齢化進む中、税収入の減少。今後、人口減少 ・世代間交流 	世代間交流&新旧住民の協調・調和 老人と子ども、大切にされる街にしたい (一層)さらに、安心・安全な街づくり	住民自治協議会の促進と強化 市民参加の促進と強化を通して、市民協働を進める	住民協の充実、発展と合わせ、行政の意識改革 新たな開発規制の徹底による自然保全 議員の資質向上を求める 市長・行政・議員・市民のそれぞれの役割意識の自覚

グループ	①逗子市の現状・特長・特性と課題	②逗子市でこういう風に暮らしたい	③市民の自治に対する考え、思い	④だからこうする、こうしたい
9	<p>・A)相模の海の立地をメインテーマにしたい</p> <p>B)アクセスの利便性をテーマにした</p> <p>C)「ポイント」特長を少なくとも1か所完成させたい。メディカルセンター、文教関係など</p> <p>・情報公開がされている</p> <p>・自然が豊か</p> <p>・課題としては、市民・議会・行政の三者で情報を共有知ることを条文に入れる</p> <p>・人口減を含む厳しい財政状況下、負の分配をどう進めていくか。</p> <p>・次の世代への遺産として残すべきものの選択を、集中的に行政と進める必要がある</p> <p>・コンパクトな街の特性をいかし、集落の結集を市全体の力にかえやすいところ</p> <p>・自然(海山気候)に恵まれた首都圏に近い、便利で住みやすい田舎</p>	<p>・防犯の行き届いた街づくり、常に安心した生活ができるように暮らしたい</p> <p>・豊かな自然環境を守り、地域の交流や人とのつながりが感じられる暮らし</p> <p>・定住者が増えるように安全・安心な快適な暮らし</p> <p>・市民の触れ合い、つながりはそれだけで多くのことを成し、多くの危機を防ぐ力となる</p> <p>・多くの声だけではなく少ない声にも耳を傾ける自治であるべき</p> <p>・出来るだけ多くの引き出しがある社会の中で、自由な選択ができるまち</p> <p>・自然との調和をとりながら、これからも成長していけるまち</p>	<p>・やはり行政が中心となり、大きなテーマの元に逗子市の自治を浸透させる全市民が参加しやすいイベントなどを行って常に自治をアピールする</p> <p>・市民の自治とは、具体的には行政が進めるべき課題。市民は関心をもってそれに協働していく</p> <p>・行政と議会と市民の有様的結合を相手の立場の尊重と信頼関係の醸成が必要</p> <p>・市民の自治に関することとしては「ゴミ」の捨て方ルールを守るような条例を</p> <p>・地域課題の解決に向けて対話の場を設け、お互い理解し、目的を共有し、市の協働を確立する</p>	<p>・やはり、市長がよりリーダーシップを出して、逗子市のビジョンを常々発信して市民を意識づける</p> <p>・市民、行政、議会が意見交換できる場づくり</p> <p>・市民、行政、議会が一体感をもって協力し合う</p> <p>・目の前にある課題に対して、できるだけ多くの力(塊)を結集し、解決に向かいたい</p> <p>・まずは垣根を取っ払って考え、その後、個々の役割や責任をあてはめる視点</p> <p>・市民は逗子市の状況に関心をもつ。そして自由に自分の意見を話せる場の設定と参加をしてゆきたい</p> <p>・相互に理解と納得と共感に努め、べき論でなく自らできることの実践を</p> <p>・市民一人一人が自覚と責任感をもつ</p> <p>・誰もがいつまでも住み続けたいと思うような市にしていくために、市民・議会・行政の役割を明確にし、ルールが定められる</p> <p>・市長・議会・行政は市民の意見を取り入れた上で市の発展に貢献すべきもの</p>
まとめ	<p>豊かな自然環境に恵まれていて、首都圏に近くアクセス便利な立地。コンパクトな街である。ただ、人口減少を含む厳しい財務状況を抱えている。</p>	<p>・防犯の行き届いた街づくり</p> <p>・豊かな自然環境を守る</p> <p>・人とのつながりが感じられる暮らし</p> <p>・安全安心な暮らし</p> <p>・触れ合い、つながりは力となる</p> <p>・少ない声に耳を傾ける自治</p> <p>・多くの引き出しがある社会</p> <p>・自然と調和をとる</p>	<p>ルールを守る</p> <p>市、行政に関心をもつ</p>	<p>・市長がリーダーシップをとってビジョンを発信</p> <p>・市民、行政、議会が一体感をもって協力</p> <p>・多くの力(塊)を結集し解決</p> <p>・垣根をなくし、その後、役割・責任を</p> <p>・自由に自分の意見を話せる場</p> <p>・自主的な行動と責任感をもつ</p> <p>・市民、議会、行政の役割を明確にし、ルールを定める</p> <p>・情報共有の方法、解りやすい情報発信</p>

グループ	① 逗子市の現状・特長・特性と課題	② 逗子市でこういう風に暮らしたい	③ 市民の自治に対する考え、思い	④ だからこうする、こうしたい
10	<ul style="list-style-type: none"> ・都会な部分と田舎の部分をもっていること ・そのまちに住んでいる人が、その土地を良くしようと思ひ、行動できるまち ・自然が豊か、比較的<u>自然の保全性が高い</u> ・<u>山・海(川・池)</u> ・<u>緑が多い</u> ・<u>住民の文化度が高い</u> ・<u>首都圏に近い</u> ・<u>四季を通じて過ごしやすい</u> ・<u>人口の減少傾向</u> ・<u>高齢化</u> ・<u>日常の買い物が不便</u> ・<u>自治会組織がまだ十分とは言えない</u> 「向こう三軒両隣」まではいなくても、「向こう五軒までは親しくお付き合いができる」まちづくりにしたい ・<u>自然が豊か</u> ・<u>人口減少</u> ・<u>市の規模が小さく、市内で生活が全てはまかなえない</u> ・<u>【前提】将来高齢化社会になることは必然。この状況になっても、市民各層が、豊かで幸福に暮らせるような持続的な施策を考える必要がある</u> ・<u>【特長】自然が豊か。他市町村に比べ健康な人が多い。個人所得が多い。米軍が駐在している。工場・企業等の税収が少ない</u> ・<u>【課題】目的を持続的に果たすため、いかに税収を維持するか。社会福祉費用をいかに捻出するか。少子化社会における教育をいかに充実させるか。(今の教育の延長(いじめが絶えない)で良いと教えるのか)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>近所付き合いができるまち</u> ・<u>挨拶ができるまち</u> ・<u>自然に触れられる暮らし</u> ・<u>高齢化社会においても、老人・中年・若人・学校学生・生徒・児童・幼児含めて幸福に満足して生活できる。</u> ・<u>老人はえてして、身勝手に、他人のことを配慮しない人が多い。この点いかに改善するか→コミュニティ</u> ・<u>落ち着いた住環境で暮らしたい</u> ・<u>催し物があるような時には、多数の人が集まることができるようなまちづくりにしたい</u> ・<u>持続可能な生活</u> ・<u>子育て世代が安心して暮らせるよう多様な文化の共存</u> ・<u>安全に暮らしたい(防犯、交通、防災)</u> ・<u>安心して暮らしたい(医療、子育て)</u> ・<u>豊かな自然の中で暮らしたい</u> ・<u>静かな環境で暮らしたい</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>親しみのもてる自治会の運営についての自治会の会合と指導者がいると良いと思います。隣の自治会の情報が得られると良い</u> ・<u>できる人ができる時に、誰でも気軽に関わることが大事</u> ・<u>多様な意見を受容できる雰囲気</u>が重要 ・<u>自治会に協力するのみの人が多い(自分も含め)。各自治会を有効に市政と融合するかが今後の課題</u> ・<u>個々の生活スタイルに応じた自治への多様な市民参加手段の必要</u> ・<u>市民の自治に必要な情報、モチベーションの提供？</u> ・<u>自治参加の敷居を下げる</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>高齢化、地球温暖化の社会に対して、将来の方向を見据え、それに接続するような文化・生活様式を考えていく</u> ・<u>住民と行政で課題を共有し、共に行動していきたい</u> ・<u>逗子の自然の保全と維持・管理</u> ・<u>自然の大切さや自然との触れ合いの楽しさを伝えるためのイベント</u> ・<u>生活の中で容易に自然に触れ合えるような仕組みやまちづくり</u> ・<u>自治会の運営について指導的な人がいてくれるよと思います</u> ・<u>市長の集まる機会が多ければ多いほどよと思います</u> ・<u>課題の見える化</u> ・<u>周辺自治体・市民との連携</u> ・<u>医療施設の充実</u> ・<u>防犯対策⇒ワレ窓理論、小さな犯罪も起きないように雰囲気とまちづくり</u> ・<u>市民意識の向上と住民相互のつながり</u>

グループ	①逗子市の現状・特長・特性と課題	②逗子市でこういう風に暮らしたい	③市民の自治に対する考え、思い	④だからこうする、こうしたい
まとめ (10)	<p>【特長】・自然が豊か(山・海・川・池 四季を通じて過ごしやすい) ・都心に近く利便性が良い ・住民の文化度が高く、住民自ら行動 できるまち</p> <p>【課題】・人口減少、高齢化 ・市内での生活が不便(日常の買い 物)</p> <p>・自治会組織が弱い</p> <p>【現状】・米軍が駐在している ・個人所得が多い ・工場企業等が少ない</p>	<p>①安心 - 医療、子育て ②安全 - 防犯、交通、防災 ③コミュニティ - 近所付き合い 挨拶 他人への配慮 多様な人が集まる</p> <p>④自然に触れる</p>	<p>・まとまった組織が欲しい ・指導者・リーダーが必要 ・情報交換・共有 隣の自治会 市政</p> <p>・もっとたくさんの人に自治会に参加し ほしい 敷居を下げる 多様な意見を受容できる雰囲気 モチベーション</p>	<p>①自然の保全、維持、管理 自然に触れる機会 ②医療施設の充実 ③安全なまち 防犯対策 ④①②③を実現するための最小限の 組織 情報の共有(課題のみえる化)</p>